

チャンピオンの選ぶヘルメット

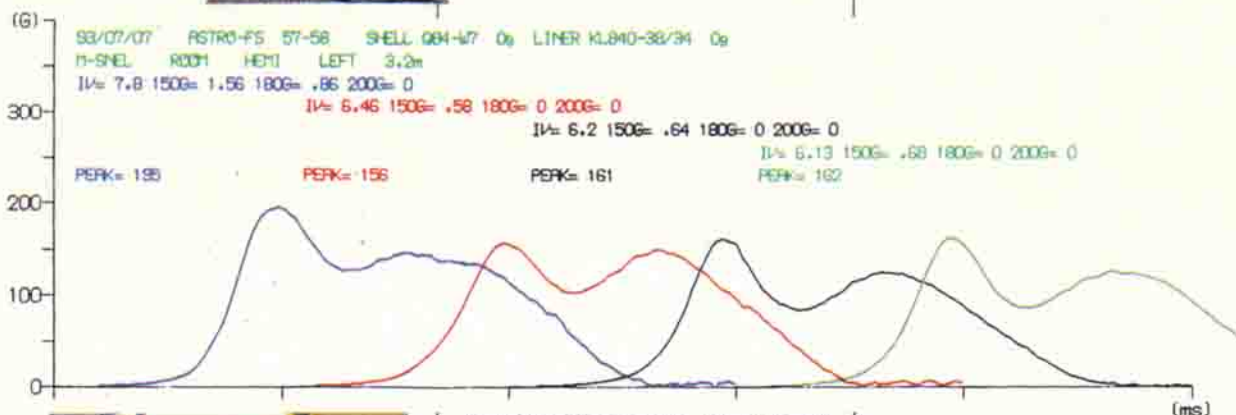


今年の世界選手権で最もチャンピオンに近いレーサーといえば、ロードレースでは、GP-1のケビン・シュワーツ、GP-2の原田哲也、GP-3の坂田和人。モトクロスでは、連勝記録を更新中の250のグレッグ・アルバーチン。4輪のF-1では、アラン・プロスト、デーモン・ヒル。INDY CARTでは、ナイジェル・マンセルと、2輪4輪問わず、アライを使用するトップレーサー達が、全てのジャンルにおいて世界チャンピオンに最も近いところに位置しています。彼らトップレーサーがアライを選ぶのは、契約金云々ではなく、安全性を初めとする信頼性ゆえです。真にチャンピオンを狙うためには、ヘルメットに頼られることなく、レースに集中しなければならないという一心でアライを選んでいるのです。★

「レーサーからもっと軽くしてくれといわれても、このアライの定めたスネルを越えるルールを満足させる安全性能の裏付けがなければ、むやみな軽量化も一切しません。」



アライは、トップレーサーに提供するヘルメットも、市販させていたでいるヘルメットもまったく区別することなく、同一の生産工程、同一の品質基準で生産しています。トップレーサーの要求には、軽量化、かぶり心地、ベンチレーションなど厳しいものがあるので、多くのメーカーは、レーサー用として、スペシャルなものを作って提供している様ですが、アライは、アライを使用していただいている全てのユーザーが、トップレーサーだと心掛けて、一つ一つを丁寧に作り上げてい



スタッフ募集

資源が乏しく、食料、エネルギーも、輸入しなければ生きられない国を支えてきた、優秀な日本製品にとっても、1ドル100円は厳しい試練です。だが、アライは、使命感を抱く人々の集団として、受けて立ちます。未来を夢みて挑戦します。そんなアライに、参加して見ようという人募集します。ご希望の方は、ご自分のアピールに履歴書を添えて、下記までご送付下さい。総務担当 木村 宛

例えば上の表を見て下さい。ヘルメットの安全性に最も重要な衝撃吸収性について、市販のアストロF5を抜き取り衝撃吸収性試験をした表です。この衝撃吸収性試験は、スネル規格の場合は、一回目に150ジュールのエネルギーを加え、さらに同一箇所を2回目には、110ジュールのエネルギーを加えて、いずれもヘルメット内の人頭型に300Gを超える衝撃が加わってはならないというのですが、F5では、裏の左側から一回目155ジュール、2回目110ジュール、3回目100ジュール、4回目100ジュールと、同一箇所に、実に4回も衝撃エネルギーを加えて、いずれも300Gを大きく下回る結果を残しています。



このようにアライでは、スネルよりも厳しいエネルギーを加え、しかも同一箇所に3回以上の衝撃を与えて、余裕あるデータを残さない限り、スネル規格品として、世には出さないというルールを定めています。もちろん、レーサー用、市販品問わずです。どんな有名

なメーカーも、そんなアライの頑固な姿勢が、トップレーサーにアライを選ばせた要因なのかもしれません。



レースシーズンもいよいよ後半に入っていきます。アライを使用するレーサーの内、果たして何人が世界チャンピオンを獲得できるのかぜひ注目してください。